

Ⅱ 賑わう「都」をつくる

～奈良が有する自然・歴史・文化資源を活用し、観光産業を振興する～

3 滞在型観光の定着

- (12) ホテル誘致
- (13) 奈良県コンベンションセンターを活用した観光振興
- (14) 奈良公園周辺地区のホテル整備
- (15) 多様な滞在の仕方の推進
- (16) 宿泊予約便利性的向上

4 魅力ある観光地づくり

- (17) 奈良公園・猿沢池周辺のアメニティ向上
- (18) 奈良公園周辺の交通改善・ぐるっとバス運営
- (19) 県立文化会館・美術館と周辺地域の整備
- (20) 大宮通り・近鉄奈良駅周辺の景観・環境整備
- (21) 大極殿院南門、平城宮跡東側、平城宮跡南側の整備
- (22) 中町「道の駅」の整備
- (23) 自転車の周遊環境整備と安全利用

5 魅力向上・発信

- (24) 県内イベントの充実
- (25) 食の振興
- (26) 海外プロモーション・東京プロモーションの展開
- (27) 「奈良まほろば館」新拠点への移転
- (28) 奈良県観光総合戦略の策定と実行

3 滞在型観光の定着

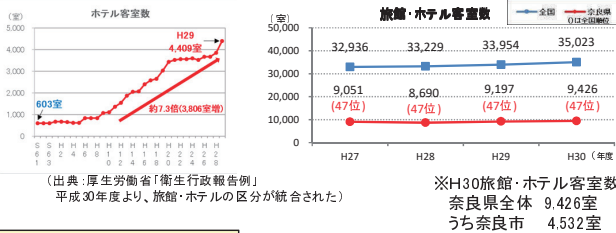
(12) ホテル誘致

これまでは

観光地にはホテルが不可欠であり、近年増加はしているものの、奈良県の旅館・ホテル客室数は全国で最下位です。

ハイエンド観光客に対応した高級ホテルもなく、観光地のブランド力がいま一歩でした。

加えて、客室数の約5割が奈良市に集中しており、奈良県を周遊したい客層を取り逃す結果となっていました。



近年の県の誘致例

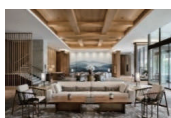
平成27年9月 OPEN
オーベルジュ・ぶれざんす 桜井



令和2年6月 OPEN
ふふ奈良



令和2年7月 OPEN
JW Marriott ホテル奈良



もっと良くするために

観光地競争に打ち勝つには、**ホテル客室数を増やすこと、ホテルのバラエティを持つこと、上質なホテルも用意することが必要です。**

＜ホテル誘致の視点＞

- 滞在型観光を促進するため客室数を増加
- 多様なニーズに応えるバラエティ
- 観光地奈良のブランド力を上げる上質ホテル

これらの視点に沿って県内の観光地へのホテル誘致を進めます。

○ (新) ホテル誘致に向けた新たな支援制度の創設

- ・ 県内全域を対象とした補助制度を創設し、宿泊施設の立地を促進することにより、滞在型観光を一層推進
- 【債務負担行為 300百万円】

- JETRO奈良事務所と連携し、ハイレベルのスポーツ合宿、セミナー・イベント等に対応可能なホテルの誘致活動を効果的に実施 (1百万円)

令和3年度予算案 1百万円 [債務負担行為 300百万円]

(13) 奈良県コンベンションセンターを活用した観光振興

これまでは

これまで奈良になかった大型コンベンション施設と国際ブランドホテルを核とした複合型観光施設が誕生しました。奈良県観光の飛躍のために、その活用が必要です。

- 令和2年4月1日に奈良県コンベンションセンターが、7月22日にJWマリオット・ホテル奈良が開業しました。



奈良県コンベンションセンター



JWマリオット・ホテル奈良

もっと良くするために

大規模国際会議などの誘致を推進します。

- ・大規模国際会議開催のため、トップセールスを継続するとともに、県、奈良県ビジターズビューローによる誘致活動を展開 (29百万円)
- ・**新型コロナウイルス感染防止に配慮した大会議室の利用、最新設備によるハイブリッド会議など「新しい生活様式」に即したMICE開催を提案し、センターの利活用を推進 (116百万円)**

天平広場や屋内施設を利用した新しい賑わいを創出します。

- ・**感染症対策を徹底しつつ、天平広場などを活かしたイベントを定期的**に開催 (19百万円)



天平広場を活用したイベント

MICE誘致を活用して県内各地への訪問客を増加させます。

- ・ユニークベニュー(寺社等での会議・レセプション開催)を開発
- ・交流拠点全体のタウンマネジメント協議会を定期開催

令和3年度予算案 164百万円

(14) 奈良公園周辺地区のホテル整備

これまでは

奈良公園は歴史文化と自然が一体となった世界に誇ることのできる場所です。周囲の風情に調和した宿泊施設の整備が進んできています。

- 整備されてきた場所はかつて富豪が別荘地にしていた場所などですが、今多くの人々が利用できる施設に変わってきています。

高畑町周辺地区

- ・令和2年5月に県が瑜伽山園地を開園
- ・同6月に民間事業者が宿泊施設・飲食施設をオープン

- 法務省、奈良市との包括協定に基づき、旧奈良監獄アクセス道路整備事業を支援するなど、旧奈良監獄の歴史的価値を保存・活用するための事業に協力しています。



瑜伽山園地の宿泊施設の整備



旧奈良監獄 (法務省より提供)

もっと良くするために

・吉城園周辺地区の整備

- ・県は、吉城園周辺の土塀の修景、遊歩道整備等を行い、**名勝の価値を高めます。(102百万円)**【債務負担行為120百万円】



- 交流エリア
- 宿泊エリア
- 一般利用者の動線
- 交流施設の出入口
- 宿泊施設の出入口

・旧奈良監獄ホテルの整備

- ・令和6年中にホテル運営開始予定。県はホテル整備のための支援を継続します。

- 奈良市による**アクセス道路整備**へ支援 (3百万円)

- 旧奈良監獄保存活用株式会社(SPC)の**耐震改修**へ支援 (42百万円)



旧奈良監獄ホテルのイメージ (法務省より提供)

- 奈良市と連携した**沿道整備**(2百万円)

・その他のホテルの整備

- ・2025年の大阪・関西万博の開催を好機と捉え、奈良公園に相応しい風情ある上質な宿泊施設の誘致に努めます。

令和3年度予算案 149百万円【債務負担行為 120百万円】

(15) 多様な滞在の仕方の推進

これまで

奈良県は文化財だけでなく自然も豊かな地域です。これまで修学旅行が滞在の中心となっていました。バラエティーに富んだ宿泊サービスが求められるようになってきています。

- ・ 民泊
- ・ スポーツ宿泊
- ・ セミナー宿泊
- ・ キャンプ、グランピング
- ・ サイクリング宿泊
- ・ トレッキング
- ・ 温泉
- ・ ワークेशन



民泊イメージ



温泉イメージ

もっと良くするために

新型コロナウイルスの感染防止対策を講じつつ、多様な宿泊サービスを充実させるとともに、その利用を推進します。

- 宿泊施設や観光施設等の**感染拡大防止策**や**新たな旅のスタイルの定着**を目指した取組への支援(35百万円)
- セミナー等により民間宿泊施設の**おもてなし力向上**を支援 (6百万円)
- 県民を対象にした**宿泊等割引キャンペーン**(いまなら。キャンペーン)を実施し、**県民の県内観光や宿泊施設の利用を促進**(500百万円)

修学旅行の内容を充実させる取組を積極的に行います。

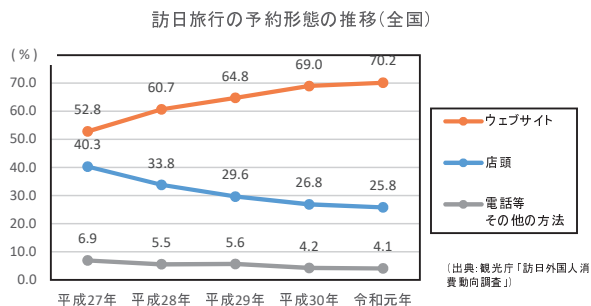
- **(新)** タクシー等を利用した県内周遊をモデル的に実施し、周遊に適した観光プランを検討(8百万円)
- 教育プログラム(SDGsプログラム、学習ガイドブック等)を充実させ、修学旅行誘客の営業活動を強化

令和3年度予算案 549百万円

(16) 宿泊予約便利性の向上

これまで

インターネットを利用した予約システムに仕組みが大きく変化。それに対応した受入体制の改善が必要になってきています。



GoToトラベルや「いまなら。キャンペーン」などでのキャンペーン商品の利用、予約が円滑に進められる仕組みが必要となっています。

もっと良くするために

各宿泊施設の予約システムが、ICTを活用した便利なものに改善されるように支援等を行います。

- 民間宿泊施設のICT促進を支援
- 予約のIT化も含む宿泊施設向け講習の実施(6百万円)

奈良県内の宿泊予約が合理的に行われるようなシステム構築を図ります。

- インターネット、face-to-faceなど、様々な顧客ニーズに応える予約の仕組みを構築

令和3年度予算案 6百万円

4 魅力ある観光地づくり

(17) 奈良公園・猿沢池周辺のアメニティ向上

これまでは

奈良公園バスターミナル、鹿苑、大仏殿前駐車場の魅力向上と奈良公園アメニティ向上に努めてきました。

奈良公園バスターミナル
ベンチ・せんたくん設置



鹿苑



大仏殿前駐車場



猿沢池周辺も奈良観光の中心地です。アメニティ向上に努めてきました。

開設後の猿沢インと
整備したウッドデッキ



建替後の
五十二段北トイレ



ぐれーとさまあーふえすた
☆ならまち遊歩



もっと良くするために

奈良公園のさらなる魅力向上に努めます。

○レクチャーホールでの賑わいイベントの実施など、**奈良公園バスターミナルのアメニティ**を向上

○**鹿苑の整備(55百万円)** [債務負担行為 30百万円]

○公園内の移動円滑化の社会実験(10百万円)

○トイレの洋式化(97百万円)

○**奈良のシカの保護・管理**

○植栽の整備・春日山原始林の保全

(63百万円、R2-2月補正 53百万円)

○奈良公園バスターミナル周辺の遊歩道整備などアメニティ向上(146百万円)



社会実験で使用する
車両のイメージ

猿沢池周辺の環境整備を図り、楽しめるまちづくりに工夫をします。

○**猿沢池とその周辺の**

環境整備(35百万円)



猿沢池周辺のイルミネーション

令和3年度予算案 406百万円 [債務負担行為 30百万円]
令和2年度2月補正予算案 53百万円

(18) 奈良公園周辺の交通改善・ぐるっとバス運営

これまでは

奈良公園は観光シーズンには交通混雑の激しいところでしたが、奈良公園バスターミナルが開業し、交通環境改善に取り組んでいます。



○運用後の効果

令和元年秋の観光シーズンには、平日を中心に渋滞の緩和が図られました。

○運用後の対応

- ①予約枠を10分あたり8台から13台に拡大。
- ②当日予約を開始。

ぐるっとバスの運営をしています。

○大宮通りルート、奈良公園ルート、若草山麓ルートの3路線で運行しています。

○令和2年4月から、大宮通りルートを奈良県コンベンションセンター経由に変更しました。

もっと良くするために

奈良公園バスターミナルの運営改善を図り、周辺の交通環境整備に努めます。(344百万円)

○高畑駐車場、大仏殿前駐車場、登大路駐車場との一体とした運営

○平城宮跡歴史公園南側に整備する来園者用駐車場を、バスターミナル駐機場として有効活用

○バスターミナルのアメニティ向上

- 賑わい創出イベントの開催
- レクチャーホール利用促進

○バスターミナルから大仏殿周辺へ吉城園内通路を活用した新たな歩行者動線を検討

ぐるっとバスの運行改善をさらに進めます。(236百万円)

○大宮通りルートの大和西大寺駅南口(令和3年春整備完了予定)への乗入れ検討

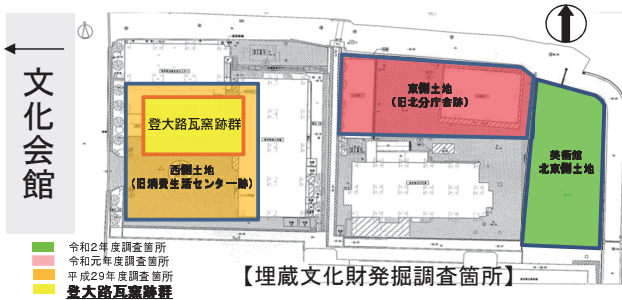
令和3年度予算案 580百万円

(19) 県立文化会館・美術館と周辺地域の整備

これまで

耐震性の低い両館の**一体的な改築整備**の検討を進めてきました。

- これまでの経緯
 - ・耐震基準を満たしていないことから、引き続き利用するには早急に応急対策が必要
 - ・平成27年度に「文化会館、美術館及びその周辺整備計画」を策定
- 令和元年度に文化会館と美術館の**応急的耐震補強工事**を実施
- 美術館アネックス対策のため、平成29年度から旧消費生活センター・北分庁舎等跡地の発掘調査を行い、学術的に重要な遺構群を発見



登大路瓦窯跡群の現地保存を図ります。

もっと良くするために

文化会館・美術館及び周辺地域を文化ゾーンととらえて、文化的雰囲気**が一体的に醸成**されるような地域整備を図ります。

- H27「文化会館、美術館及びその周辺整備計画」をリバイス(文化会館の整備内容を検討)
- 文化会館の整備
設計費(153百万円)[債務負担行為 272百万円]



県立文化会館整備イメージ

- 文化財発掘調査の結果を踏まえ、美術館整備の方向性を検討(14百万円)
(新)奈良公園内における文化の展示力向上の検討

令和3年度予算案 167百万円 [債務負担行為 272百万円]

(20) 大宮通り・近鉄奈良駅周辺の景観・環境整備

これまで

奈良市大宮通りの景観改善に努めてきました。
大宮通りジャーナルを発行しました。



大宮通りでボランティアの方々や、沿道企業の方々が花壇の植付やゴミ掃除をさせていただいており、とても感謝しています。

近鉄奈良駅前は、観光地奈良公園の玄関口にもかかわらず、不便で雰囲気が悪いなどの評判が立っていました。



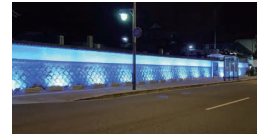
- ・駅前広場が整備されていない
- ・歩行通路に屋根がない。
- ・交通・観光・店舗等の情報が混在
- ・案内サインは分かりにくく雑然としている
- ・バス停が分かり難い
- ・派手でキタナイ、広告看板が目立つ 等

近鉄奈良駅前広場の**透明の屋根の整備**、バスロケの整備、ぐるっとバス停の設置、県ポスター掲示を美術館ポスターに入れ替え等を進めるとともに、景観・環境整備の進め方について検討してきました。

もっと良くするために

大宮通りの景観・環境整備を引き続き進めます。(63百万円)

- 西方寺の白壁のライトアップ等、光量増量を図りおもてなし空間とします。
- JR高架橋の歓迎文字(ようこそ奈良へ)を目立たせる工夫をします。

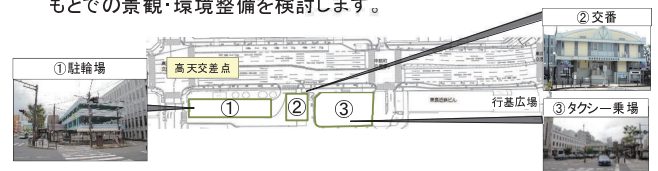


○花壇のイルミネーションをさらに整備します。



近鉄奈良駅前の**景観・環境整備**を地元商店街・地元自治会の人々と協力して進めます。(10百万円)

- 近鉄奈良駅周辺の**環境整備**
 - ・地域の関係者との勉強会を開催
 - ・歩道空間を活用した環境整備に関する設計の実施
 - ・大宮通りをはさんだ**近鉄奈良駅前を一体としてとらえ統一した考え方**のもとでの景観・環境整備を検討します。



令和3年度予算案 73百万円